

【資料1】



JAPANESE ORTHOPAEDIC ASSOCIATION (JOA) NEWS
ホームページ <http://www.joa.or.jp/>

第 63 号

平成17(2005)年
10月15日

日整会広報室ニュース

発行：社団法人日本整形外科学会 発行者：越智 隆弘 編集：日本整形外科学会広報室
〒113-8418 東京都文京区本郷2-40-8 TEL.03-3816-3671 FAX03-3818-2337 広報室 E-mail office@joa.or.jp

8

運動器リハビリテーション研修制度について

運動器リハビリテーション委員会アドバイザー／
日本運動器リハビリテーション学会理事長 岩谷 力

高齢社会を迎え、健康寿命と運動器疾患の密接な関連性が明らかになり、運動器疾患患者の治療、生活機能維持・回復が国民健康の重要課題のひとつになってきた。これまで整形外科は、運動器疾患患者の身体の機能・活動性の維持向上、健康寿命延伸への対応が不十分であった。

21世紀の運動器に携わる医療者は、生活機能の維持・回復、健康寿命の延伸を目標とし、基礎医学・EBMに基づく運動器リハビリテーションの研究、診療体制の整備を急ぐべきであろう。おりしも診療報酬点数におけるリハビリテーションが疾患、重症度を組み込んだ枠組みに組み替えられる情勢にあり、運動器リハビリテーションが高度な専門性を確立する時期に達しているものと考えられる。

日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会、日本臨床整形外科医学会、日本運動器リハビリテーション学会の代表者は検討を重ね、運動器疾患患者の治療において、リハビリテーションプログラムを立案、処方、治療チームを統括、治療過程を管理して、治療成果をあげる技量をもつ医師を育成することが必要との結論に達した。

このような運動器疾患の治療に携わる医師の技量を高めて社会の要請に応えるために、日本整形外科学会と日本リハビリテーション医学会のどちらか

からもアクセスできる研修制度を、日本運動器リハビリテーション学会が整備することとし、前述の4学会代表者の間で基本的合意に達した。

日本運動器リハビリテーション学会では、同学会会員である日本整形外科学会認定整形外科専門医または日本リハビリテーション医学会認定専門医に対する所定の研修が計画されている。この日本運動器リハビリテーション学会が目指している研修制度の骨格は、同学会会員が所定の研修を完全受講し、試験に合格した場合に研修修了者と認定し、5年の資格更新制度を設けるものである。2年の移行措置期間を設け、その期間においては2日間の研修（修了試験を含む）受講をもって資格認定を行うとしている。

第1回研修会は平成18年1月8・9日の2日間に予定されている。

詳細については、平成17年11月12日以降に日本運動器リハビリテーション学会ホームページ<http://www.jsmr.org>をご覧ください。受講には日本運動器リハビリテーション学会入会が必要で、同学会入会手続きについては上記ホームページにアクセスしてください。